



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は、多くの

大学に影響を与えており、大東文化大学でも、昨年9月の後期授業開始から一部対面授業が開始されましたが、まだ登校の生徒は少なく、大東文化学園生協も厳しい経営状況になっています。

そんな中ではありますが、学生委員会ではオンライン部会等で、新入生に向けた大学生活紹介冊子の作成等、新学期準備をすすめています。制約の多い状況の中で新入生を迎えるため、動画などの作成も検討しています。

経営状況的には厳しい条件下ではありますが、状況が改善する年になってほしいと思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

淑徳大学みずほ台生協は今年度で24年目を迎えます。昨年は誰もが予想

しなかったコロナ禍による自粛で大学・生協ともに大きな影響を受けました。大学生にとっては大変な一年となりました。大学当局も慣れないオンラインの授業の準備などで慌ただしい時間を過ごしています。大学に関わる人にとっては正念場と言える状況です。

組合員が求めることもこの1年で劇的に変化しています。変化に対応し、生協が出来ることを考え、大学・組合員から必要とされる生協を目指していきたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

本年度で十文字学園生協は設立25周年を迎えました。

昨年度のコロナウイルス感染症は生協の事業活動にも大きな影響を与えましたが、学生の皆さんの学生生活にも大きな影響を与えました。卒業式の中止、例年、卒業式には晴れやかな袴を来た学生の姿が見られ、大学全体が明るく、晴れやかに見えてましたが、その姿も無くとても寂しく感じました。また新入生も入学式は中止、大学に入学したもののオンライン授業が中心で大学に登校せず、初めて登校したのは9月になってからという学生さんが多くいたと思われます。激変した大学環境に生協も対応が難しく事業的にもかなり厳しい年でした。

今年度も引き続きコロナウイルス感染症の影響は生協事業にも大きく関わってきますが、組合員の皆さんに必要とされる生協になるように努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染に歯止めがかからぬまま、新年を迎えることとなりました。

消費者・組合員の意識や価値観は大きく変わろうとしています。私たち生協は、組合員の願いを出発点に、食と暮らしを支える事業者として社会に求められる役割を果たしてまいります。

コロナ禍による経済の低迷により、消費者・組合員の暮らしと家計は厳しさを増しています。SDGsの取り組みもいっそうスピードを上げ、行政・他団体をはじめ多くの方々と連携して積極的に進めてまいります。生協の事業活動においても、助け合いの組織として、生協らしいコミュニケーションを模索してまいります。

私たちは事業活動の着実な成長と、「誰一人取り残さない」持続可能な社会実現に向け、「誰からも頼られる生協」になることに尽力いたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

埼玉県、埼玉県議会、友誼諸団体の皆様の当会へのご指導・ご支援に心より感謝申し上げます。

埼玉県生活協同組合連合会
会長理事 吉川 尚彦

昨年から、「ウィズコロナ」という宿題を持ち越しました。くらしの大きな変化と組合員の多様なニーズに応える会員生協の

事業を基礎として、生活困窮者への食の支援をはじめ、消費者被害の防止、医療従事者への支援や健康づくりなど、コロナ禍においても、つながりを活かした地域での助け合いが広がる新しい活動が求められています。また、国際社会においては、温室効果ガスの削減や平和な社会の実現が引き続きの課題です。

私たち埼玉県的生活協同組合は、県民・組合員が安心してくらしを過ごせるよう、SDGsの実現をめざし、これからも行政や諸団体とのネットワークを大切に、連携を図りながら進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大で日本だけでなく世界中が大きな影響を受けました。人と人が自由に接触できない生活が続く、パルシステム埼玉も食を中心とした宅配事業

生活協同組合パルシステム埼玉
理事長 樋口 民子

の利用が増え、組合員のくらしを支える生協への信頼と責任を改めて感じています。ただ、組合員活動、産地交流、商品学習と人が集うものは、ようやく段階的に再開し始めたばかりです。

収束が見えない中、様々なくらしの不安や経済的・社会的な課題が出てきています。2021年はくらしの不安や課題に向き合い、組合員一人ひとりが互いに支え合っていることを実感できるように事業と活動に取り組みます。また、社会的に弱い立場にある方に向けた地域支援を進め、県内各生協や諸団体、そして行政機関とのつながりを深めて、一緒に安心してくらしを過ごす埼玉をつくっていきたく思います。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



心と心の距離をさらに近く

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大は、世界中を揺るがす未曾有の危機を招き、いまだ収束のめどは立ちませんが、最前線で働く職員と後方を支える職員との結集力、生産から

生活協同組合コープみらい
理事長 新井 ちとせ

流通、消費までのフードチェーン全体で協力・連携を強め、食の社会インフラを支え続けています。

理念「CO-OP ともにほぐくむ くらしと未来」は、私たち一人ひとりが手を取り合い、一つひとつのくらしの願いを実現していく「共助」の精神を大切にしています。新しい生活様式が求められる時代に、ソーシャルディスタンスは確保しながらも、心と心の距離はさらに近づけていけるよう事業と活動で努力してまいります。そして、助け合いの組織として、行政・諸団体とのパートナーシップをより強固なものとし、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。



さらなる協働の一年に

新年おめでとうございます。

生活クラブは昨年示した『2030 行動宣言』の中で、SDGsの目標を達成するため事業や活動でさらに推進すべきことをまとめ、次世代の子どもたちのために、人と自然

生活クラブ生活協同組合
理事長 木下 美由紀

が共生する持続可能な生き方を選ぶことを再確認しています。

埼玉では、新型コロナ感染拡大に伴う自粛要請時期に、社会的弱者への支援活動を行う22の市民団体へ緊急助成を行いました。2021年はこれらの団体と連携強化をして「誰一人取り残さない」持続可能な地域社会づくりを進めていきます。また店舗型共同購入の『デポー』を浦和に続き、所沢、越谷にも展開し、地域で人と人とのつながりと発信力を高めます。

地域の暮らしをよりよく変えていくのは地域に暮らす生活者一人ひとりの力です。県民の自発的な活動や事業が行政を動かす協働の形を、皆さんと共にさらに推し進めていく一年にしたいと願います。



コロナでわかった 私たちの進むべき道



医療生協さいたま生活協同組合
理事長 雪田 慎二

新年あけましておめでとうございます。

日頃より医療生協の活動をご支援いただき誠にありがとうございます。

昨年は日本全体が新型コロナウイルスの対応に追われた一年でした。私たちにとっては、感染対策に日々頭を悩ませる一方で、医療・介護の社会的責任を痛感する一年でもありました。一人ひとりの命、健康、暮らしを守る活動がいかに大切であるかを学びました。また、公衆衛生機能の低下、急性期病床・感染症病床の削減、自己負担増など、医療や介護の「社会的共通資本」としての役割を妨げるような施策も早急に是正が必要であることも明らかとなりました。こういった課題に多くの方々と連携しながら引き続き取り組んでいきたいと考えております。

この新しい年が皆様方にとって健康で笑顔ある一年となることを心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ



埼玉県労働者共済生活協同組合
理事長 金井 浩

明けましておめでとうございます。

昨年は7月の九州豪雨や9月の台風9号、10号などの自然災害により、九州地方を中心に甚大な被害に見舞われました。被災された皆さまに謹んでお見舞いを申し上げますとともに、被害を受けられた組合員の皆さまの早期の生活再建に向け、迅速な損害調査および共済金のお支払いに努めてまいりました。最後のお一人まで、しっかりとお支払いの対応にあたります。

本年も、こくみん共済 coop <全労済>では、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の理念のもと、子どもの健全育成や社会課題の解決に寄与する取り組みなど、組合員の皆さまが安心して生活が送れるよう、安心と信頼の「共済生活協同組合」の役割を果たしてまいります。

結びに皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



埼玉県労働者生活協同組合
理事長 関根 正道

新年のごあいさつ

みなさま方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、コロナ禍の影響を受け経済活動にも大きな弊害をもたらし、なお解決の兆しは見られませんが、感染拡大防止に向けて、まず自分のできる対策を、常に講じることが大切なことです。

生協の運動も、全国的に広がる福祉への取り組みに、組合員から大きな期待が寄せられています。

当生協も、今年度は、自然災害から守るため住宅事業の老朽化対策として、メンテナンスに力点を置き住環境の整備に努めます。

新年を迎え、組合員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます、今年も宜しく願い申し上げます。

経営の安定は信頼の証、「SDGs」に貢献する取り組みを一層強め、生協活動の前進を



さいたま住宅生活協同組合
理事長 後藤 晴雄

「より良い暮らしを作る」と願う組合員とともに事業活動、生協運動を進めてきました。今年度、事業状況は消費税の増税も重くのしかかり、加えて新型コロナウイルスの

感染拡大により、対前年度比で30%マイナスという状況です。昨年から実施している「地区別総代懇談会」も中止が相次いでいます。そんな中でコロナ対策をしっかりと10月に一カ所開催が出来ました。総代から直接住まいづくりの問題や、地域の話などが語られ住宅生協を身近に感じられる機会となっています。こうしたことを通じて組合員との結びつき、組合員同士のつながりを強め、信頼される住宅生協として事業活動を推進していきます。

「SDGs」に貢献する取り組みを進め、生活協同組合らしい取り組みでさらに前進を目指し、努力を重ねていきます。憲法を守る運動、平和を求める運動などを事業活動と合わせて取り組んでいきます。



子どものそ保育生活協同組合
理事長 能登 眞作

無認可から認可へ 50年の苦闘

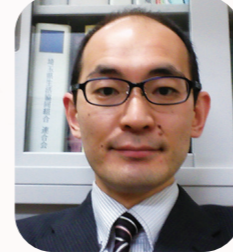
新年おめでとうございます。

団地にあふれる乳幼児を豊かに育てようと、私たちが一世帯5万円の資金を拠出して保育生活協同組合を設立し「子どものその」を開園したのは1965年のことでした。

生協立では幼稚園の認可も保育所の認可も得られず、公的補助のない無認可施設の経営困難は忘れることができません。間もなく「保育生協を解体し、社会福祉法人化して認可施設にしよう」と保育生協総代会で決議しました。しかし、当時の上福岡市は人口急増に追われて小学校建設で精いっぱいでした。

私たちは生協らしく供給事業や、資源回収などで日銭を稼ぎながら、親たちが主人公だからこそできる素晴らしい保育を創造し、地域社会に深く根を下ろしました。やがて保育生協が資金を拠出し、創立50年目の2015年、幼保連携型認定こども園として確固たる認可施設に生まれ変わりました。保育生協は使命を終わり、解散の準備を進めています。

新年のごあいさつ



埼玉大学生生活協同組合
専務理事 河本 健太郎

新年明けましておめでとうございます。

昨年の新型コロナウイルス感染症の拡大は埼玉大学生協にも大きな影響を及ぼしました。報道にもあるように大学キャンパスの中は変わらずに自粛ムードのままであり、学生がほとんど大学に登校しないという状況は、大学生協の事業・運動の面で大きな打撃を与えています。

そのような状況ではありますが、埼玉大学生協では4月からの新入生を迎えるべく、教職員・学生委員会一丸となって準備を行っております。自宅から授業を受けることが当たり前になりつつある状況で、オンラインによる交流会なども検討しています。このような状況であっても新入生・組合員に支持される生協を目指し努力していきます。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

新年のごあいさつ



生活協同組合・さいたま高齢協
理事長 坂林 哲雄

あけましておめでとうございます。

超高齢者社会の主人公は高齢者自身、お世話になるより社会を支えようと、20年前に設立された生活協同組合です。社会保障制度の改悪が続

き、福祉事業の経営に青息吐息の昨今です。コロナ感染の拡大は、社会参加を通じて健康維持や介護予防に取り組んでいる高齢者にとって非常に厳しい暮らしを強いています。感染拡大の脅威や、温暖化の助長で未来の人類の存在さえ脅かしている状況は、強欲な資本主義を礼賛してきた結果だ、と言ったら言い過ぎでしょうか。新しい生活様式を、自らの暮らしの足下で見つめていきたいと思っております。そして「労働者協同組合法」が40年ぶりの協同組合法として成立します。高齢者の仕事おこしを生業とする私たちにとって飛躍の年にしたいと思っております。

ぜひ、ご参加を。



新年のごあいさつ

跡見学園女子大学生生活協同組合
専務理事 吉永 治礼

新年明けましておめでとうございます。

約1年続いている新型コロナウイルス感染症の拡大は、大学生協にも大きな影響を及ぼしております。跡見学園女子大学は1年間ほぼオンライン講義となり、学生さんのいない非常に寂しい状況です。日々の利用に支えられてきた生協店舗は、特に食品分野と旅行分野で大きな打撃を受けております。

大学生協は大きな転換期であり、危機的な状況であると同時に、学生さんや大学にとっても、「暮らし」「学び」「コミュニティ」の危機です。そのような状況であっても、“組合員の生活にどのように応えていくのか”という原点に立ち返り、2021年度入学する学生をあたたく迎え、「大学に生協があつて良かった」と感謝されるよう、理事・監事、パート職員とともに一丸となって取り組んでまいりたいと思っております。

本年もどうぞよろしく願いいたします。